

発行/モザイク会誌 編集 情報掲載 tel.042-3629-4162

モザイク会誌郵送部局：〒105-0012 東京都港区南赤坂4-12-4 5Fアートシティ 104

モザイク会誌ホームページ：http://www.maa-jp.com/ Email:mosaj@maa-jp.com

編集/作成：モザイク会誌編集委員会

来年開催のモザイク展2015の会場が決まりました。



「モザイク展 2015」

会場：横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室 1F・2F

期間：平成 27 年 9 月 15 日（火）～ 27 日（日）

搬入：9 月 14 日（月）

来年で、モザイク会誌発足 20 周年になります。

公募展を 1 階の展示室で行い、2 階の展示室では企画展を予定しています。

企画展の展示室として、物故会員、元会員作品の展示などを考えています。

その他運営委員会、展覧会準備委員会にて検討中ですが 20 周年・記念展

として良い結果を残せる展覧会にしたいと思っています。

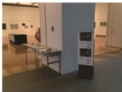
詳細は 27 年 1 月中に、みなさんにお知らせする予定です。

モザイク展 2014 府中展報告



モザイク会議が主催する 10 回目的モザイク展「モザイク展 2014」
が東京都府中市美術館併設ギャラリーで開催されました。
会期・8月20日(水)～31日(日)

最寄の駅からバスに乗って会場に来るといっているので、
たいに不利な地理条件でしたが、1000人以上の
来場者が出て、大盛況です。
今回はモザイク会議員の点が選ばれました。
朝倉希子、櫻川真知子、戸塚裕子、坂川幸子、
野村弓枝以上の5名が受賞しました。



今まで毎数年ごとに行ってきた毛ザイクビエンナーレでしたが、もう少し頻りに作品発表してもらいたくはないかという趣旨で、毎年開催を決めました。

しかしやはり毎年では、間に合わないという会員も多く、出品者数 36 名と、数の上では物足りないものでしたが個々の高い作品がならびました。

例年いくつかの賞を用意してきましたが、今回は毛ザイク会賞、一種類にしました。

賞金は会員の横野良夫、松尾北政夫、中野幸子の3名、会員外で建築家の松井正造の4名が行いました。



藤田美子 「海に丸」



櫻井真知子 「熊（かわらせ）」



松月弓枝 「Mind」



戸部純子 「時 流れて」



藤川純子 「Total (C.C.S.A) 2014」

展覧会情報

5月以降に開催された、会員やモザイク仲間の展覧会を紹介します。

今年5月展覧会 5/14～5/19

第31回 エターナル・アート・モザイク展

会場：横浜・みなとみらい・ギャラリー

出品数約 17名 約計32点

原野真直様のモザイク展

会員の戸部伸子さんの作品



直、原野真直さんの作品

6月16日から28日まで開催

会場：ギャラリー兼（東京江尻）

原野真直の展覧。



フランス/ルー・ル・モニアルという町で「白と黒」という名前の展覧会が開かれました。

18人のグループ展でしたが、原野真直が特別招待で14点作品を展示。

会場：サン・ニコラス

会期：7月5日～9月14日



展覧会情報

芸術展

モザイク部がありました。6月に仙台から帰ってきて画廊で僕の個展だけど、グループ展みたいな展覧会しました。「黙っ黙々、ひっ黙々、すっ黙々展」と言うのをやりました。これは学生や先生に僕の作りかいた作品を通して、僕には作品を提供してもらい仕上げて展示する一画の作品が分からなくなる企画をしました。タブロー、立派、モザイク、様々なジャンルにコラボの様な不思議な展覧会になりました。



コラボ作品が並びました。



展覧会情報

ラヴェンナ博覧会芸術部

9月20日～11月9日



展覧会情報

第 51 回茨城県美術展

10月10日～15日、後援のメディアアート

今回は50周年記念で、通常の展覧とは違い入れのある作品を展示することになりました。

私は2001年に制作したモザイク作品を展示して頂きます。 記・高橋真



何気なく長い柄れた部分を見るとワンちゃんに見える！即作品名決定。奇しくもこの日に亡くなったペットの娘に捧げるレイイエム的な感じになりました。

共創いずみの展覧

10月1日～6日

ギャラリー MUSE (銀座)



共創いずみの展覧 作品「いずみ」

7/2023

小林真智江展覧

10月1日～7日

銀座工務本館アートスペース



田村新一展覧

10月13日～25日

十一井画廊 (銀座)

展覧会情報

『モザイク作家 藤 園希子 x Maristo』と共同で大塚で展示会を開催しました。

これは 10 月 11 日～19 日、『大塚の街が東京・インドリアのショールームになる。』というコンセプトのイベント『まちアコール 2014』への参加企画で、大塚駅前橋にある高級浴槽ブランド Artia と、セレクトタイルブランド Maristo の協働

ショールーム・Artia/Maristo 大塚ショールームが開催でした。

Maristo 様からタイル素材のご提供を受け、それを使って自由に制作してよいという夢のようなお話でした。

ショールームの移転リニューアルオープンの翌日から始まるという雰囲気だったので、『タイル職人は絶対にしない悪い方で』『そのモザイクタイルでしか出ない魅力を』『簡単に出す』ことを意識して制作を進めました。

この記事を書いている今は、まだ会場中なのでなかなか書き手いじりもありますが、真っ黒なタイルで素材と向き合い続けられ、素材の魅力を引き出す形を練り上げる事が出来たと思っています。人と素材とのご縁にとっても感謝しています。ブログ： Atelier AIGAJI (藤園希子で検索してください) Facebook ページ：エグオ工房_モザイク制作



イアックス世界のタイル博物館
豊和楽美術館(東京都) 1-130
「壁のパブリックアート」
2014年 10月4日～ 2015年 3月15日

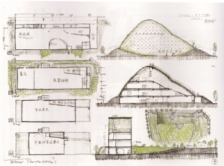
日本手工美術協会主催の、「手工芸術展」
10月 31日～ 11月6日(東京都美術館)
にてモザイク部門でモザイク作品
(アートクラフトタイル) を出品いたします。
山口希子



山口さんの作品

多治見市モザイクタイルミュージアム

平成 28 年完成予定。デザインが決定し、報道発表がおこなわれました。



建築家の藤森和徳氏の設計したタイルの博物館が多治見市
宮原町にあります。

宮原町というのは小浜りのモザイクタイルの生産に関して
は日本一の町で、私たちの活動を応援してくれる人たち
もいて、緑の深い町です。

外観は陶土の土盛り場からヒントを得たデザインで、盛り
上った土の山にはタイルを埋め込むのだそうです。

多治見市モザイクタイルミュージアム

